

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣東高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月1日(木) 13:30~15:30
開催にあたり、短期海外研修生徒の発表参観を実施した
- 3 開催場所 大垣東高等学校会議室
- 4 参加者

会 長	高橋 利行	池田町教育長
副会長	福井 哲信	中日本冰糖(株)顧問
委 員	尾形 佳隆	大垣市立南中学校長
	星野 恵里	大垣青年会議所情報交流渉外委員長
	古田三十子	赤十字奉仕団南副分団長
	吉田 篤	育友会長 (欠席)
	山田 恵美	育友会生活委員長
学 校 側	大橋 雅之	校 長
	山田 理嗣	教 頭
	山田 智徳	教 頭
	後藤 聡徳	事務長
	野崎 孝明	教務主任
	田中 晴美	進路指導部長
	福島 良輔	生徒指導部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度自己評価・学校関係者評価報告について

ア 教務・進路について

意見1:総合的な探究の時間では、探究方法や課題解決策が分からなかったりする生徒への対応はどのようにしているか。

⇒「やってみたいけど、どうしたらいいか分からない」が出発点だと考える。

試行錯誤から学べることが多いので、教員は結果よりプロセスが大切と捉え、必要以上に口出しをせず、できる限り生徒に委ねている。

一方、教員も教育センターの研修を利用したりしながら、探究指導を深めるための研鑽に励んでいる。

イ 総務・生徒指導・教育相談・保健厚生について

意見1:不登校の児童・生徒は、全国で過去最高の29万人と言われている。本校でも一定数の不登校生徒がいると思われるが、先生方が不登校生徒に対して粘り強く関わってくれたという卒業生の保護者からの感謝の声を聞いた。

⇒今年度よりスクール相談員を配置してもらい、相談体制をより充実させることができた。職員も担任を中心に保護者や本人との情報交換を大切にし、きめ細やかに対応するよう努力している。

- 意見2：朝に通学路に立っていると、多くの生徒がさわやかな挨拶をしてくれる。小中学生のよいモデルになっている。
⇒小中学生の目も意識させることによって、相手の目を見て明るく挨拶できる生徒をさらに増やせるよう、引き続き努力したい。
- ウ 特別活動・理数科教育について
- 意見1：高校では部活動の地域移行について、どのように考えているか。
⇒高校では部活動を目的として入学する生徒もいる。そして、部活動を通して、教室とは異なる、人間として大切なことを学ぶチャンスがあると考え。単純に地域や外部に委ねることについては慎重に考える必要がある。
- 意見2：理数科の魅力をさまざまな機会を捉えてPRしてほしい。
⇒高校説明会、理数科出前授業、また、地区の中高合同の校長会や進路指導部会などを利用して発信している。
理数探究の授業では、17年続くハリヨ研究の他、生徒の主体的な疑問を掘り下げ、研究し、発表会を行う活動もしているため、それらに直接触れる機会を増やしていきたい。
- エ その他
- 意見1：スクールポリシーに即した評価を行おうとすると、評価がしにくい一面がある。各学校に即した目標を設定できるようなフォームがあるとよい。

(2) 来年度の運営方針について

ア 入学式、卒業式等について

- ・コロナ禍での行事改変や熱中症予防を踏まえ、簡素化を含めて、効果的に実施していく。

イ 修学旅行について

- ・普通科、理数科同一日程、同一行程で沖縄に行く。

ウ ベトナム短期研修

- ・知的好奇心を刺激する教育環境の実現とグローバル人材の育成を目指して、2年生対象に3泊4日で実施する。

エ 学習アプリの積極的な活用について

- ・導入2年目として「授業との連動」を図り、更なる活用を図りたい。
- ・先生方の授業のやり方を尊重しながら、定期テストへの出題など上手く活用していけるとよい。

(3) 学習アプリの活用について

- 意見1：部活動等でなかなか学習時間が確保できない生徒にとって、隙間時間を利用できる有効な手立てだ。また、中間層の生徒の知識定着にも活用しやすいと考える。

6 会議のまとめ

- (1) 自己評価・学校関係者評価については、各項目とも多くの意見をいただいた。これを踏まえ、次年度の学校運営に生かすことを確認した。
- (2) 来年度の運営方針については承認を得た。